

第28回「民謡のつどい」結果

狭山市民謡協会主催による第28回『民謡のつどい』が8月26日(日)狭山市民会館にて行われ、コンクールの部で次の方々が入賞しました。

合唱コンクール

優勝 てるよし会「新ソーラン節」 2位 はやちね会「長者の山」 3位 千寿会「多摩の酒造り唄」

熟年の部

優勝 田中 健二「謙良節」 2位 仲島 直広 3位 新園 美佐

成年の部

優勝 菅家 親和子「鯨ヶ沢甚句」 2位 松本 勝美 3位 大野 亜美

埼玉県民謡の部

優勝 新井 勝子「狭山茶作り唄」 2位 根本 梅子 3位 松尾 弥寿子

----- さやま・文化の息吹 -----

ギターサークル 弦

老若男女10名でスタート。早いもので13年が過ぎようとしている。

多い時で20名を超える会員がいた時もあり、活気にあふれていた。しかし、少しずつ会員も減り、今年解散の危機になってしまい「緊急会議」。

全員(8名)で頑張って一致団結を強くし、続けていく事となりました。会を続けていくことの難しさを痛感しております。

私自身、昨年より体調を崩し、手術をしたり入退院が続いた時期もあり、文団連の皆様、「ギターサークル 弦」の会員にも心配やご迷惑をおかけいたしましたことを、文面をお借りしてお詫び申し上げます。まだ万全ではありませんが、少しずつやって行こうと思っております。

まだまだ現役で頑張りたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。

代表 横尾 俊佑

----- さやま・文化の息吹 -----

「狂言入間川」を観る会

「狂言入間川」の上演は、1464年京都で行われたのが最も古いと言われていました。その29年くらい後に、聖護院門跡、道興准后が『廻国雑記』で入間川を訪れ、「立ちよりにてかげをうつさば入間川 我が年波もさかさまにゆけ」と詠んでいます。狂言入間川の逆さ言葉を知ってのことと思われる。

このように、歴史ある入間川が私たちの住む街、入間川です。この地に狂言師、大蔵流山本則直氏が在住ということで、「狂言入間川を観る会」が出来ました。

則直氏は兄東次郎、弟則俊の三兄弟で息子、孫らと活躍しています。先代東次郎は「乱れて盛んなるよりはむしろ固く守りて滅びよ」と警鐘をならしています。東次郎氏は、「私たちは不器用ですので狂言しかできません」と、言われています。

この人柄が皆さんを引きつけているようです。本年度芸術院賞を受賞されました。



次の鑑賞会は1月19日(土)です。シンプルで親しみやすい狂言、ぜひお出かけください。私たちはスタッフとしてがんばっています。

代表 布田 光男